

*Department of NeuroBiology and Behavior*  
Gunma University Graduate School of Medicine

SDR 解析の手順

1. Meta Morph を立ち上げる。
2. 解析する画像 (FITC で撮影した画像) を開き、解析を行うエリアを Trace region (一番下の段 : 左から 4 番目) で囲む。解析は第二分岐から第三分岐の間を 50  $\mu\text{m}$  ほど (75% で 10 センチ程度) 選択して行う。
3. 囲んだエリアを Regions の Save region で保存しておく。
4. region をアクティブにして Edit の Duplicate-Image で選んだエリアを拡大する。
5. Measure の Calibrate Distance で CSfx-63xBin1 を選択して 1pixel が 0.1063  $\mu\text{m}$  となるように Apply する。
6. Region Tool Properties (一番下の段 : 右から一番目) を選択し、Default region width と Default region height を 5 に設定する。
7. Ellipse Region (一番下の段 : 左から 3 番目 : 円形) を選択してスパインの先端を選択する。次に先端と同じ順番でスパインの根元 (シャフト) を選択する。
8. 選択した領域を Regions の Save region で保存する。
9. Cy3 の画像を開き Load Region から 3 で囲んだエリアを呼び出す。そして先程と同様に Edit の Duplicate-Image で選んだエリアを拡大し、Load Region から 8 で保存したスパインとシャフトの位置を呼び出す。位置がずれる場合は Display の Color Align で色を付けて位置を合わせる。
10. Measure の Region Measurement を選択し Configure の Region Label : Image Name : Area : Distance : Average Intensity をチェックする。
11. Measure の Region Measurement の Measurements でデータを計測する。
12. Open Log で Excel を立ち上げ、計測したデータを Excel に送る。
13. Excel で SDR (スパイン/シャフト) を計測する。

(written by N. Tanaka)